



令和6年12月23日

午前11時

一関工業高等専門学校とスタートアップ共同宣言を行います

一ノ関駅東口イノベーション構想検討委員会報告書（令和6年12月19日提出）に掲げる「いちのせき型エコシステム」の形成を目的に、一関工業高等専門学校（以下「一関高専」という。）と一関市は、共同宣言を行います。

1 共同宣言

一関高専および一関市は共同して起業支援に取り組むことにより、一関高専から今後5年で5社のスタートアップ企業が生まれるよう支援し、これらの企業が一関を拠点として地域の企業と連携をとり、地域を発展させます。

*一関高専を卒業し、大学に編入学し・大学院を経て、より高度な研究力を身につけ起業する場合なども含む

2 宣言の目的

一関市の将来を力強く切り拓き、未来を託せる人財を持続的に育てる仕組みの構築を目指す

3 宣言日 12月23日（月）

4 取り組みの方向性

(1) 一関高専と一関市は、以下の事項を共同で進める。

- ・スタートアップ人財の育成
- ・一関高専の在校生・卒業生から生まれたスタートアップ企業がいちのせき型エコシステムを形成するための支援
- ・スタートアップ企業の技術的ギャップを埋めるための研究シーズによる一関高専と企業との連携

(2) 一関高専は、学生が「知識をもとに深く探究できる」ように、地域の産業界、一関市、地域の関係機関と連携した「アントレプレナーシップ教育」を授業や学生の活動を

通して進め、在学中のスタートアップ企業設立を促進する。また、特別な授業以外のすべての授業も知識のインプットとアウトプットに終始するのではなく、生成AIも駆使して「探究型」に改革していく。

(3) 一関高専は、「国立高専でのスタートアップは一関高専」を打ち出した入試広報を実施し、全国での知名度の向上により広く学生を募集する。

(4) 一関市は、金融機関と連携し、金銭的支援に向けたマッチングや経営ノウハウの確立支援（法律面も含む）に取り組み、学生起業家が「スタート・リスタートができる地域」を目指す。

(5) 一関高専と一関市は、スタートアップ企業が持つ技術（シーズ）と地域で新たな技術を実装したい企業（ニーズ）とのマッチング機能の構築を進める。

5 その他

具体的な事業は、一関市における地方創生の推進に係る包括連携協定（一関高専、一関商工会議所、一関信用金庫、一関市の4者での協定）に基づき、連携して実施していく。

問い合わせ先

〒021-8501 岩手県一関市竹山町7番2号

市長公室プロジェクト推進室 主任主事 中机

電話：(0191) 21-8648 (ダイヤル)

FAX：(0191) 21-2164

メールアドレス：project@city.ichinoseki.iwate.jp